

<週報No.2, 868> 2, 979 回例会

2019年1月25日(金)

■会長/古屋 了 ■幹事/加藤 明博

◆司会=川村総一郎 副SAA

◆ゲストビジター=本日はいらっしゃいません

◆出席報告

本日	64.29%	19名欠席
前回訂正	77.27%	12名欠席

◆ラッキーナンバー=No.30 古屋了会長

◆ニコニコボックス=●古屋了君=本日は、職業奉仕委員会の皆様よろしくお願ひいたします。●山本實君=本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。●古屋了君=ラッキーNo.にあたって。

◆会長告知・古屋了会長=今月は諏訪地方6市町村で成人式が行われました。



昨年成人式をテーマとした川柳で「はれのひに 晴れ着届けず 雲隠れ」という句が詠まれましたが、同業としては全く悲しい事件でした。

当社では今年も100名を超える成年男女の装いのお手伝いさせていただきました。毎年様々なドラマやハプニングがありますが、今年は当日の朝、「娘が急に成人式に列席できることになったのでキモノと着付けが間に合いますか？」と困ったお顔で来館されたお母様がありました。例えば、昨年の夏に一旦諦めたキモノ姿を整えてあげたいとのこと。事情があったので、スタッフが全力で仕上げ、お母さんは安堵の涙を流しておられました。私は男性の袴の着付けをしてから主催者の一人として成人式に参加させていただきました。諏訪市の成人式は、晴天にも恵まれ整然と挙行。成人者代表挨拶をはじめ実行委員の皆さんの挨拶は感謝と決意にあふれ、心が洗われる平穏な式でした。成人式の晴れ着姿は、多くの親にとって20年間注いだ愛情を振り返る親自身のためのプレゼントでもあることを毎年実感しています。

さて、明治以降140年間、成年年齢は20歳でしたが、

これを18歳に引き下げる改正民法が昨年国会で可決。選挙権については既に公職選挙法で20歳から18歳に引き下げられていますが、民法の施行日である2022年の4月以降は18歳になると、単独で契約を締結することができたり、婚姻の可能年齢が男女で統一されたり、士業の資格取得が可能になったり、親権に服する必要もなくなるそうです。成年年齢の見直しに至った背景には、世界的に18歳を成年年齢とする国が多いという事情もあるようです。当社でも20代前半の数人の社員に18歳成人の可否について聞いてみましたが、早めの大人扱いへの配慮は概ね好評でありました。

今、懸念されているのは、自治体がおこなう成人式の開催時期についてです。成人式について定めた法律はないのですが、民法改正に伴って成人式の対象者を18歳として1月に開催した場合、対象となる高校3年生は、その多くが受験・就活の真っ只中。進路決定に伴う家族の経済的負担も重なります。夏開催にした場合、私どものような全国のキモノにかかわる業界は死活問題。キモノの価値の伝統文化としての継承も危ぶまれます。

こうした中、京都市はいち早く「20歳のつどい」として、また、神奈川県逗子市も「20歳を祝う大人の集い」として、現行通り20歳を対象年齢とすることを表明しております。酒とタバコも20歳から。子供から大人への感謝と決意の節目として20歳をお祝いしたいものです。

但し、それぞれの家庭には様々な事情や価値観があるのも事実。「大人にはなりたくない部屋籠り」「背負うもの重すぎるよと海外に」この二句も成人式にまつわる川柳です。

インフルエンザ大流行中、今晚は積雪もあるようです。皆様お気をつけください。

◆幹事報告・山田文雄副幹事= 加藤幹事が出張中ですので代わって幹事報告を行います。①本日のクラブフォーラムは職業奉仕月間に併せ、職業奉仕委員会に担当して頂きます。よろしくお願ひします。②先週の例会で幹事より話がありました、ポリオ撲滅チャリティーコンペの募金箱を回しますのご協力の程、お願ひいたします。各クラブ最低3万円が目標です。(本日の出席人数からすると一人当たり1000円以上です。)③3月9日(土曜日)にマリオローヤル会館で行われます、諏訪グループIMのパネルディスカッションのパネラーには、当クラブから高橋千昭会員が出ます。高橋さんよろしくお願ひ致し

ます。ホストクラブは諏訪大社RCとなっております。来年は諏訪クラブとなります。よろしくお願いいたします。

◆委員会報告 会報委員会 北澤光彦会員＝この度は週報の原稿作成に時間が掛かってしまい大変申し訳ございません。一か月分まとめて一度に次回提出する形となっております。ご迷惑をおかけしました。

ロータリーの友 1月号から目に留まった内容をお知らせいたします。全体的には、インスピレーションというキーワードになっているように思います。その中で「ニュージェネレーション」というコラムが目にとまりました。一度お読みください。

◆クラブフォーラム 職業奉仕月間●河西正一委員長＝



皆さんこんにちは。本日は職業奉仕月間という事で職業奉仕委員会が担当いたします。本来は梶川昌二副委員長とやっておりますが、

日赤では院長という事で二人でやっております。本日で一人でやらさせていただきます。職業奉仕委員長になったのは今回で三回目です。三回やっても職業奉仕委員会とは何だかわからない状態でここへ立っております。

職業奉仕というのは、やはり皆さん分からない事だと思います。今月のロータリーの友に職業奉仕について書かれております。内容が多少分かるかもしれませんが、是非読んでいただきたいと思います。その中で奉仕という日本語訳がいけないのではないか、“ヴォケーションルサービス”の“サービス”を“奉仕”と訳した所から分からなくなっているのではないか、という事が書いてありました。“奉仕”は“ギブアンドギブ”で“職業”というのは“ギブアンドテイク”でギブアンドテイクがギブアンドギブのような話をしてしまうと混乱してしまうのではないかと、もう少し違った考え方をしたほうが良いのではないかと様な記事があります。皆さんお読みいただけたら少し理解ができるのではないかと思います。是非この機会にお読みいただけたら幸いです。

12月1日に職業奉仕の地区セミナーがありました。古屋会長・加藤幹事・山科会員と私が出席して来ました。そこでは基調講演と5名による職業についての事例発表がありました。大変興味深く聞かせて頂きその時思った事が、職業奉仕は自分の仕事の内容を話してもいいんだなと思ひ。本日は自分の職業についてお話しします。

私は下諏訪秋宮横で塩羊羹の「新鶴本店」という店をやっております。和菓子販売・製造を営んでおります。

創業は明治6年・1873年、今年で146年目を迎えました。初代から私で5代目です。息子が帰ってきておりますので何とか6代目までは続ける事ができると思います。従業員は工場（こうば）と呼ばれる職人・職人見習いが6名、販売は女性5名、経理は1名そしてわれわれ家族が3人の15名です。私は和菓子店を経営しておりますが、和菓子が作れません。146年間職人から職人への技術継承という事で商売をやっております。やはり若い人材がなければ私の店も続かないので若い職人を育ててくれるように願っております。

年間来客数はだいたい7万人ほど、塩羊羹の年間発送量は3500件程です。新鶴本店と屋号がありますが、支店はございません。昔は職人の暖簾分けがありその名残から本店という名前がついています。よく電話問い合わせで、支店はどこですか？と聞かれますがその都度ここだけですと対応しております。

お店前は甲州街道と中山道のぶつかる所です。なぜこのような話をするかという知らない方が多く、知って頂くために地図を店内に掛けてあるが評判がよく配れるものも用意しました。

商品について、弊社売り上げ9割程は塩羊羹。袋入り・紙箱・木箱と8種類。最近「小分」という羊羹を作ってみました。小さいもの問い合わせから苦労の上完成に至りました。売り切れが多い。あと賞味期限を2週間にした事で評判が良くなりました。生菓子は25種類位あります。常置しているのは12～15種類置いております。

羊羹の原料ですが、小豆・寒天・砂糖・多少の塩のみ。小豆は北海道産です。小豆は輪作なので5年に一度位のペースで廻していきます。仕入価格にも変動があります。寒天は茅野で生産されています。寒天を入れる製造過程で、かまどを使い燃料も薪を使用しています。

◆今後の例会日程

2月1日	金	クラブフォーラム
2月8日	金	クラブフォーラム
2月15日	金	準法定休日
2月22日	金	クラブフォーラム

執筆担当 北澤光彦